

科目名	マテリアル研究		Subject	Materials Research	
サブタイトル	美術作品に用いられる各種素材（マテリアル）の特質の研究、およびさまざまな素材による作品制作。				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
1 年	前期	必修			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間			
ゲストスピーカー招聘回		なし	◎		
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	×				
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。				

科目の概要								
現代の美術作品には、実にさまざまな素材（マテリアル）が使われます。この授業では美術作品の制作に用いられる各種素材の基本的な特質を研究します。描画材料をはじめ立体作品や間接表現であるマチエール木版画に用いる素材などを使用し、それぞれの材料や表現技法による違いを学びながら作品を制作し、素材と技法の魅力を知り、幅広い表現方法を体験します。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	さまざまな材料や技法の特性を理解し、幅広い表現方法を用いて作品制作することができる。また、平面作品や立体作品において自分でテーマを設定し目標をもって制作することによって、独自性のある作品を創造することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	画材大全/美術出版社							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	-	80%	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	さまざまな作品制作の材料や技法があることを知り、識別することができる。	復習：画集やネットを見て美術材料や技法について調べる。	240 分
第 2 回	美術表現の技法と素材	さまざまな表現技法の特質と使用する素材との関係を知り説明することができる。	前回の続き	240 分
第 3 回	マチエール版画制作① マチエール版画の技法解説	版木に凹凸をつけるマチエール版画の表現法を知り説明することができる。	復習：画集やネットを見て版画技法について調べる。	240 分
第 4 回	マチエール版画制作② 版の作成	さまざまなマチエール素材を用いて版を試作することができる。	前回の続き	240 分
第 5 回	マチエール版画制作③ 版の完成	さまざまなマチエール素材を用いて版を作成することができる。	復習：画集やネットを見てマチエール版画について調べる。	240 分
第 6 回	マチエール版画制作④ インク刷り	マチエールの効果を意識しながら版を刷り作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	ミクストメディアによる立体作品制作① 作品紹介および解説	材料（毛糸、和紙、針金等）の特質やミクストメディアの効果を知り、説明することができる。	復習：画集やネットを見て毛糸や和紙の特性について調べる。	240 分
第 8 回	ミクストメディアによる立体作品制作② 材料研究	材料の特質や効果を利用することができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	ミクストメディアによる立体作品制作③ 作品制作	材料の特質や効果を活かして制作することができる。	復習：画集やネットを見てミクストメディアによる立体作品について調べる。	240 分
第 10 回	ミクストメディアによる立体作品制作④ 作品完成	材料の特質や効果を活かして作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	段ボールアート① 段ボールアートの作品紹介および解説	段ボールアートに使用するジェッソ、モデリングペースト、アクリル絵の具などの諸材料の特質や効果を知り、説明することができる。	復習：画集やネットを見て段ボールアートと諸材料について調べる。	240 分
第 12 回	段ボールアート② 試作	段ボールの特質や効果を利用して試作することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	段ボールアート③ 制作	段ボールの特質や効果を利用して制作することができる。	復習：画集やネットを見て段ボールアートの作品について調べる。	240 分
第 14 回	段ボールアート④ 制作と彩色	段ボールの特質や効果を利用して完成を意識しながら制作することができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	段ボールアート⑤ 完成	段ボールの特質や効果を利用して作品表現することができる。	前回の続き	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 6 回	段ボールアート⑥ 相互講評	他者の作品の特徴や考え方を評価することができる。	調べた段ボールアート作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 1 7 回	等身大切り絵制作① 切り絵作品の紹介および解説	切り絵の技法や特質、効果を知り、説明することができる。	復習：画集やネットを見て切り絵の技法について調べる。	240 分
第 1 8 回	等身大切り絵制作② 試作	切り絵の特質や効果を利用して、人物をテーマとして試作することができる。	予習：切り絵のモチーフとなる対象人物について調べる。	240 分
第 1 9 回	等身大切り絵制作③ 制作 1	切り絵の特質や効果を利用して制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 0 回	等身大切り絵制作④ 制作 2	切り絵の特質や効果を利用して完成を意識しながら、制作することができる。	復習：画集やネットを見て切り絵の作品について調べる。	240 分
第 2 1 回	等身大切り絵制作⑤ 完成	切り絵の特質や効果を利用して作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 2 回	等身大切り絵制作⑥ 相互講評	他者の作品の特徴や考え方を評価することができる。	調べた切り絵作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 2 3 回	身近な素材を使った作品の研究① 身近な素材を使った造形教育について	身近な素材を使った作品やミクストメディア、造形教育について説明することができる。	復習：画集やネットを見て身近な素材を使った造形教育について調べる。	240 分
第 2 4 回	身近な素材を使った作品の研究② アッサンブラージュについて	身近な素材を使ったアッサンブラージュ作品について説明することができる。	復習：画集やネットを見てアッサンブラージュについて調べる。	240 分
第 2 5 回	身近な素材を使った作品制作① 試作	使用する素材の特質や効果を利用して試作することができる。	復習：画集やネットを見て作品に使われる身近な素材について調べる。	240 分
第 2 6 回	身近な素材を使った作品制作② 制作 1	使用する素材の特質や効果を利用して制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 7 回	身近な素材を使った作品制作③ 制作 2	使用する素材の特質や効果を利用して完成を意識しながら制作することができる。	復習：画集やネットを見て身近な素材を使った作品について調べる。	240 分
第 2 8 回	身近な素材を使った作品制作④ 完成	使用する素材の特質や効果を利用して作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	身近な素材を使った作品制作⑤ 相互講評	他者の作品の特徴や考え方を評価することができる。	調べた身近な素材による作品と自分の作品を比較して、素材の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション	マテリアル研究で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し解説できる。	マテリアル研究で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分